

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成29年度 第11回
開催日時	平成29年9月25日（月曜日） 午後6時00分から7時45分まで
開催場所	田無庁舎 5階 502会議室
出席者	出席：石崎委員長、小澤副委員長、岩本委員、荻草委員、小松委員、 佐々木委員、篠宮委員、鈴木委員、田村委員、深田委員、堀内委員、 前田委員、安田委員、山田委員 欠席：井上委員 事務局：山田課長、福田係長、樋口主査
議題	(1) 第10回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 西東京市男女平等参画推進計画に関する市民意識・実態調査等について (3) 中間のまとめについて (4) 総評について (5) 平成29年度男女平等推進センター事業について (6) その他
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 第10回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 西東京市男女平等参画推進計画に関する市民意識・実態調査（票） (3) 男女平等に関する職員意識・実態調査（票） (4) 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画 実績評価報告書（平成28年度）（案） (5) 平成29年度男女平等推進センター事業について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

【開会】

○委員長：これより第11回男女平等参画推進委員会を開催いたします。

事務局より配布資料を確認した。

事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。

○事務局：皆さんのおかげで計画の実績評価報告書が形になりました。調査票については細かい部分まで確認していただきありがとうございました。現在、議会の決算特別委員会の真っ只中ですが、かつての公募委員で現在議員になっている方から、平成26年、27年でC評価がまだ31事業あるということで、現課で誰が判断し、委員に評価していただき、どうフィードバックして活かしていくのかという質問をいただきました。それに対し、平成28年はC評価が減り、委員には各課が取り組んだ事業について経過も含めて評価していただいたこと、また、できない部分がどのようなところかを各課に書いてもらえれば相応の評価をして次回に活かすことができるというご意見をいただいたことを答弁しました。委員会の運営についてもPRできました。ありがとうございました。本日はよろしく申し上げます。

（1）第10回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について

○委員長：議員もこの活動に注目してくださっているということを肝に銘じて、今まで以上によりよろしくお願いいたします。

皆さんに事前にお諮りをしていると思いますが、修正などがあればおっしゃってください。

（異議なし）

○委員長：ご了承をいただきました。

異議なく承認された。

（2）西東京市男女平等参画推進計画に関する市民意識・実態調査等について

○委員長：事務局より説明をお願いします。

資料2、資料3について説明をした。

○委員長：調査開始が予定よりずれたようですが、結果は2月の委員会でご報告いただくということです。質問のある方はいらっしゃいますか。

○委員：事務局の要望で意見を出しましたが、そもそも調査実施の目的は何でしょうか。分析結果を何につなげるかという具体的なイメージが大事で、それによって設問も変わってくると思います。担当課が「このことを知りたいからこういうアンケートをとる」ということであれば合理的に調査票ができます。私は担当課から調査実施の目的や分析結果を何につなげるかという具体的なイメージが出てくると理解していたのですが、そうではなく、私たちの意見を反映していただいただけで、十分に目的に合ったものになっているのでしょうか。前回のアンケート

をどのように活用し、計画に反映したのかを知りたいと質問しました。議会の質問があったそうですが、「アンケートの結果がこうなっていて、それを加味して計画をつくっています。実態としてC評価もありますが、アンケートの実態を反映した形でつなげていく予定です」となると構造的になり、有効だと思います。担当課の目的をはっきりさせることが必要だという意見です。

- 委員長：感想を含めてのご意見です。今お答えいただくということではなく、どう役立てていくのか、道筋を知りたいということです。
- 委員：調査の結果を計画に活かそうということです。プロセスをきちんとたてることが大事です。
- 事務局：調査項目の細かいご意見を中心に対応しました。個別になるかもしれませんが回答させていただきます。
- 委員：全体の問題なので、個別で回答する必要はありません。目的と活用の方法をはっきりさせたほうがよいではありませんか。
- 事務局：何のための市民意識調査か、何のための事業の評価か、目的を明確にしなが、改善を図りたいと思います。

(3) 中間のまとめについて

- 委員長：資料の説明をお願いします。
資料4について説明をした。
- 委員長：7ページ（「これからの課題」）、8ページ（「中間のまとめ（案）」）に関して、まだ意見を申し上げる時間的な余裕はありますか。
- 事務局：「中間のまとめ（案）」は、できましたら今日意見をいただければと思います。「これからの課題」は、今日初めてお示ししたので、議論していただいて、後ほど、ご意見をいただく時間はございます。
- 委員：7ページ、8ページは、メールで意見をやりとりしたとして、何日の日付で出すのですか。
- 事務局：次回でご承認いただければ、その日付になります。
- 委員長：私は読ませていただきましたが、皆さんは初めてご覧になるのですか。
- 事務局：事前にメールでお送りしています。
- 委員長：では、「これからの課題」についてはお読みいただいているということで、ご意見はありますか。特にないと受け止めてよろしいですか。
- 委員：7ページの最後、「前進されることを祈念する」という表現は、あまりにも消極的で、他人事ではあるまいし、我々の委員会が出す文章の表現としてふさわしくないと思います。どこかが何かを決めた時にそこに対して言うならともかく、自分たちの文章の最後がこんな語尾で終わってよいのでしょうか。話し合った方がよいと思うのですが。
- 委員長：皆さんから何かありますか。委員、代案はありますか。

- 委員：代案はいくらでもありますが、みんなで代案を出したらよいと思います。みんなの委員会で、自分たちのことを話し合っているのです。これは客観的なことを言う時に使う言葉です。あまりにも投げやりというか、私は関わっていないと言っているような言葉です。
- 委員長：最後のほうだけ、読んでみましょう。「実効性のある計画となるよう、十分検討し、男女平等参画社会の実現に向け、前進されることを祈念する。」。
- 委員：私は、「これからの課題」を読んで、「女性が働きやすくなるように」などと書かれているのですが、教育が大事だと思っています。次の世代をしっかりと育てていかないと、それが一番早いと思うのですが、「これからの課題」に入っていないのはなぜだろうと思いました。
- 委員長：「これからの課題」に、次世代への教育が入っているとよいというご意見ですね。今のお話は文言ではなく内容の問題です。他にありませんか。
- 委員：賛成ですが、入れるとしたら2行くらいでしょうか。無駄なところをカットして、おさめることができれば入れてよいと思います。
- 委員：私は、労働問題に偏ってしまうことに違和感があります。委員のご意見は、「これからの課題」として大事なことです。西東京市の男女平等推進の課題として、次の世代に向けてということが大切か、2行といわず、もっときちんとした形で入れるべきだと思います。「自分たちがやる」という気持ちがないから「祈念する」という表現になるのだと思います。
- 委員：これは西東京市の課題です。上半分は不要だと思います。
- 委員：国際的な流れ、国内の流れがあり、西東京市のことを書いていますが、私も半分以上は不要だと思います。
- 委員長：毎年、国際的な話、国内の話が枕にあり、西東京市はこうあるべきという流れになっています。ただ分量的にはどうでしょうか。
- 委員：配偶者暴力対策基本計画の課題として、デートDV、若年層の女性への暴力などもあると思います。ご検討ください。
- 委員長：DVは配偶者からの暴力として重点項目として取り扱われてはいます。その上で「これからの課題」にも入れるべきだというご意見です。次世代の教育、DV、女性への暴力を入れた方がよい、前半分は少し削ってはどうか、最後の「祈念」という表現をどうするか。こういうご意見をもとに修正していただくということによろしいでしょうか。次世代の教育の扱いですが、性教育や、名簿の順番など、いろいろありますが、いかがいたしましょう。次世代の教育というとあまりにも大きいくりになります。
- 委員：まだ詰め切れてないので、日数をいただいて具体的に考えたいと思います。
- 委員長：どのくらい時間的余裕があるか、聞いてみましょう。
- 委員：「これからの課題」だけ読むとそう思うけれど、2ページにも少し書かれています。前から読めばこのままでもいいのではないかと思います。
- 委員長：そういう意見もございます。
- 委員：読み込んでみます。
- 事務局：10月6日（金）までにご意見をいただきたいと思っていました。

- 委員：「重点課題別評価」はこれまでやってきたことを評価するもので、7ページは前年度の課題をもとに明日から何をするか。女性への暴力や教育、ワーク・ライフ・バランスは当然入ります。重複しても当たり前ではないかと思います。
- 委員：私も委員の意見に賛成です。「これからの課題」には、これからやるべきことを書かないといけないと思います。
- 委員：重点課題を書いたグループが、次に何をするか、書くとよいのではないのでしょうか。
- 委員長：7ページについて、私は資料編のまとめだと受け取ったので、これでよいと思いました。「祈念」という表現についての意見はそうかなと思いました。
- 委員：7ページの最初の18行はもっと短くまとめられます。「女性の家事・育児等への負担を軽減することが必要」とありますが、これは「家事・育児をやるのは女性です」と言っているようなものです。夫の主体的な家事・育児等へのより一層の「参加」という表現も、男女同じと言いながら、「男性が主に働いて女性が家事育児をします、男性はちょっとは参加しましょう」と言っているのにすぎません。
- 委員長：アンケートについてもそういう面があるのご意見が出ていましたが、そういうことも含めて事前に資料を出してご意見を求めているので、ご意見を出してください。
- 事務局：前半の「重点課題別評価」はよい部分、悪い部分の評価があります。7ページの「これからの課題」は、国内外の社会情勢をふまえながら、西東京市はどうするか、前半はコンパクトにまとめつつ、計画を進める上での課題ということで、今、ご意見をいただいたので、改めてお示しします。
- 委員長：皆様のご意見をふまえて、もう一度事務局で考えてくださることなので、よろしいですか。10月6日（金）までに意見をお届けするということですか。それとも、今出た意見をふまえて事務局で考えるということで、もう意見は出さなくてもよいですか。
- 事務局：もう一度検討してメールでお送りしますので、それに対してご意見をいただきたいと思います。
- 委員：その際、何に注意して書き直したかを書き添えてください。
- 委員長：またお示しただけということで、よろしく願います。「中間のまとめ」についてはこれでよろしいでしょうか。
- 委員：さきほどお話があった議会答弁のような内容はここに盛り込まれていますか。せっかく答弁したのに、入っていなかったらもったいないと思います。
- 事務局：8ページの中ほど、網掛けをした部分に盛り込んでいます。
- 委員：私は、全体の流れがよくわからなくなりました。「重点課題別評価」は、去年の取り組みについて評価をしています。次が「これからの課題」で、将来の話です。それから「中間のまとめ」という、よくわからないものが出てきます。必要だと思うのですが、この場所になくてもよいのではないのでしょうか。
- 委員長：何の「中間のまとめ」なのか、わかりませんね。
- 事務局：3次計画の計画期間は5か年なので、その中間年のまとめです。

- 委員長：タイトルがわかりにくいです。
- 委員：委員のご指摘のとおり、「これからの課題」は後のほうがよいと思います。
- 事務局：7ページは、28年度のまとめをこれからに生かしていくためのまとめと考えていました。場所については考えさせていただきます。
- 委員長：例年の流れはどうなっていますか。
- 事務局：例年と同じです。
- 委員長：そういう決まりがあるのかなと思いました。「中間のまとめ」は、5年間の中間のまとめですから、この中ではないですね。
- 事務局：9ページ以降は資料です。資料が大変多いので、「中間のまとめ」を最後に置くと切れ目がわかりづらいと思います。
- 委員長：タイトルをつけるなど、説明があれば大丈夫ではないでしょうか。
- 委員：「これからの課題」を後ろにもってくる、「中間のまとめ」を他に持っていく、一切カットする、どれかですね。
- 事務局：一切カットするというのは、ここに載せないということですか。
- 委員：載せないというのは最終的な選択です。タイトルを入れますよね。タイトルを入れたとしても、「これからの課題」は後に持っていく。あるいは「中間のまとめ」を他に移動する。
- 委員長：「重点課題別評価」、「これからの課題」、「中間のまとめ」がセットになっているほうがわかりやすいかもしれません。
- 委員：「中間のまとめ」という言葉そのものがわかりにくいから、タイトルを入れるか、「これからの課題」を後にするか、「中間のまとめ」をどこに入れるか、事務局で検討していただきたいです。
- 副委員長：内容に適したタイトルにしたらいと思います。
- 委員長：まずはタイトルをつけていただいて、この場所でよいという意見と、「これからの課題」を後にした方がよいという意見があります。後にする場合、どこになりますか。
- 委員：今ここで判断しないで、「これからの課題」をどこに入れるか話し合ってください、メールでよいのでご連絡ください。
- 事務局：「重点課題別評価」は前半に入れ、「これからの課題」は第3次計画の評価の後に入れ、「中間のまとめ」は、第3次計画の中間年のまとめということで、一番後ろに入れさせていただけばと考えています。
- 委員長：善処していただき、報告をお待ちします。

(4) 総評について

- 委員長：資料について、事務局から説明をお願いします。
資料4について説明をした。
- 事務局：総評という言い方になっていますが、「これからの課題」のことです。
- 副委員長：メールで資料を送ってもらいましたが、総評が見当たらなかったもので、たぶん「こ

れからの課題」のことだろうと思っていました。

委員長：総評は「これからの課題」のことですね。

○事務局：そうです。

○委員長：それなら、今検討して終了しました。

○事務局：「これからの課題」は、あくまでも課題です。総評となると、評価も、課題も含まれると考えています。

○委員長：タイトルを総評にするということですね。

○事務局：整理させていただきます。

○委員長：市長への報告や答申なども意識して再度ご検討いただきたいと思います。いろいろなお意見をありがとうございました。

(5) 平成 29 年度男女平等推進センター事業について

○委員長：事務局から説明をお願いします。

資料 5 について説明をした。

○委員長：ご質問や注文などありますか。もしなければ、次へ進みたいと思います。

(特になし)

(6) その他

○委員長：皆さんお揃いなので、他に何かあればご発言ください。

○委員長：私は、次の行動計画をつくる際、私たちも学習してはどうかと思います。第 3 次計画をつくる時は、講師をお招きして勉強会をしたり、委員のお話を聞いたり、他の地域の条例について学んだこともありました。

○委員：私でよければ、言葉について話せればと思います。共通認識を持ったほうがよいと思いました。

○委員長：嬉しいお申し出をいただきました。毎回 30 分なり 1 時間なり、他にも学習したいテーマはありますか。女性の労働に偏りすぎるというご意見もありましたが、女性活躍推進法は、時限立法ではありますが、期待が込められていることもあり、女性の労働についてこれから考えていかなければいけないと思います。ワーク・ライフ・バランスにも関わりますし、そういうテーマの学習はどうでしょう。委員には、ご専門の言葉についてお話しただいて。

○委員：他になければ、ということです。

○委員長：委員が女性の労働に詳しいので、私も勉強できたらよいと思ったのですが。

○委員：30 分を 2 人でやってもよいですね。共通認識として、こういう言葉が歴史的にあって、こう変わりつつあるとか、委員の中でシェアしておかないといけないと思います。

○委員長：委員のお申し出があり、委員には突然のお願いですがよろしいですか。

○委員：何か考えます。

○委員：内容については、委員とご相談したいと思います。

- 委員長：いつにしましょうか。
- 副委員長：次回ではどうでしょうか。
- 委員：今回は出張が入っているかもしれません。
- 委員：公募委員の方からもお話を聞かせていただきたいです。計画との関係でもよいですし、日常的に感じていることでもよいと思います。
- 委員長：公募委員は5人いらっしゃるの、時間配分は考えるとして、委員になった動機でも、こうしたい、ああしたいというお考えでも、お話しいただければということですね。女性と労働、ジェンダーと言葉、公募委員のお話ということで。
- 委員：次回出席できるか、予定を確認します。
- 事務局：委員には、また別の機会にお願いします、ということもあります。委員に30分～40分お話しただいて、公募委員のお話との2部構成にしてもよいかと思えます。
- 委員：今回は委員と皆さんにお願いしたほうがよさそうです。本当に出張の予定がわからないので。
- 委員長：ありがとうございます。皆さんの協力で展開の多い委員会になりました。他に連絡などありますか。
- 副委員長：配布物が他にもありますね。
- 事務局：チラシをお配りしましたが、東京都労働情報相情報センターのセミナー「ダイバーシティ&インクルージョン」の推進に向けての申込は始まっていますか。
- 委員：始まっています。お時間が許せば、皆さんにもお申込みいただきたいです。1回だけのご参加でも内容はわかると思います。
- 事務局：3市連携男女共同参画事業「いまだからできる！「防災 自助・共助の基本のき」」のチラシもあります。開催時間が昼間なのでお仕事をされている方は難しいかもしれませんが、お時間が許せばご参加ください。フォトボイス展は土曜日・日曜日にも実施しています。
- 委員長：今回は10月23日（月）、こちらの会場で行います。委員にはスケジュールをお調べいただき、委員や公募委員のお話もうかがえるということで楽しみにしています。時間配分はあらためて事務局からご連絡をしていただくということでお願いします。

【閉会】